

平成12年度「総合的な学習」年間指導計画

六島分校

1.名称 総合学習

2.ねらい

- ・ 地域を学習材として郷土の姿を追究する中で、生徒が自ら課題を見つけ、自分の計画に従って追究し、自分なりの解決を図っていく。
- ・ 郷土を見つけたり、郷土から見広げたりすることを通して、郷土の現状を正しく認識し、私たちの現在そして未来の生活をよりよく創造していこうとする心を身につける。

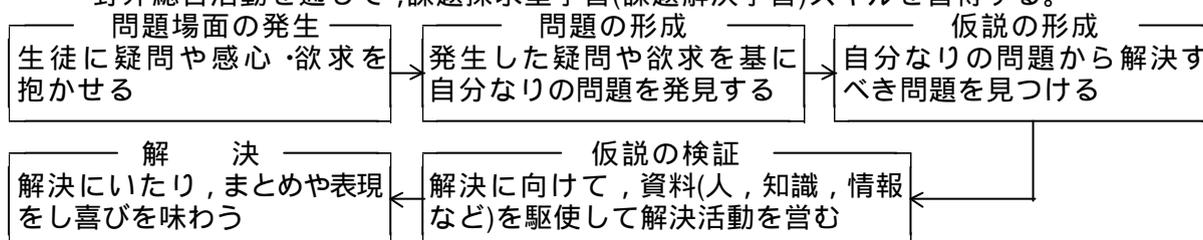
3.実施形態

- ・ テーマ別総合学習，テーマ探求型学習
- ・ 全学年共通テーマ(生徒一人一課題)
- ・ 教師全員が協力して、生徒の支援活動を行う
- ・ 基本的に連続 2 時間で実施。生徒の学習の進捗状況や校外活動の計画などに応じて弾力的に運用。

4.内容

(1) 「学び方」を学ぶ テーマ 野外総合活動記をつくらう

野外総合活動を通して、課題探求型学習(課題解決学習)スキルを習得する。



(2) 課題を探求し、表現する

生活体験や社会体験を積み上げてきた身近な地域を題材として活動テーマ「I Live in 六島～だからこそもっと知りたい～」を設定し、課題追究をはかる学習を展開する。生徒一人一人が課題を設定し、多様な方法で追究活動を行っていく。学習のまとめは生徒の個性を生かした表現方法で発表する。

5.年間カリキュラム

月	時	内容	生徒の主な活動	教師の関わり方
5	1	オリエンテーション	・オリエンテーションを受け、「郷土学習」のねらい、活動の概要、活動テーマの意味をつかむ。	・自分で課題を見つけ、活動計画を立てながら追究していく学習であることを理解させる。
	2	野外総合活動記をつくらう	ねらい 自分で課題を設定し、課題解決をしていく学習のしかた・学び方を学ぶ機会をとする	
	3			
	4		野外総合活動においての課題を設定する。	・野外総合活動の内容を新聞記事やホームページ等を見せながら説明する。
	5		・野外総合活動の内容の中から、自分が興味・関心のあるものを見つけ個人テーマの構想を持つ。	・テーマの構想をもてない生徒に対して、活動の例を示す等して自分のやりたいことは何か気づかせていくような援助を行う。
		学習活動計画を立てる。 ・野外総合活動の内容、日程等を考慮して自分の学習計画を立てる。	・活動内容が可能か、時間的な見通しを明確にもてるように助言する。	

6		<ul style="list-style-type: none"> ・旅行記の形式を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した成果がよく表せるものになるように助言する。
6	(4)	<ul style="list-style-type: none"> 記録に必要な機器の操作を覚える。 ・カメラ, デジタルカメラ, ビデオカメラの操作方法を習得する。 	
6	(0)	<ul style="list-style-type: none"> 野外総合活動 施設の見学, 体験活動 ・自分の設定したテーマについて, インタビュー等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事(野外活動)として実施
7	6~9 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 野外総合活動記の制作 ・活動の成果をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果をまとめ, 他が閲覧できるようにする。
9	10 ・ 11	<p>テーマ学習</p> <p>ねらい</p> <p>郷土「六島」を学習素材として, 生徒自ら課題を見つけ, 自分の計画に従って追究し, 自分なりの解決を図っていく</p> <p>テーマ</p> <p>IL live in 六島 ~だからこそもっと知りたい~</p>	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 個人テーマの設定 ・郷土について, 日常生活の中での疑問等をもとに個人テーマを設定する。 <p>学習活動計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合学習」の全体計画, 活動可能な場所, 校外施設の活用等を考慮して, 自分の活動計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がテーマを設定できるような多くの素材を提供する。 ・テーマを設定できない生徒に対して, 活動の例を示す等して自分のやりたいことは何か気づかせていくような支援を行う。 <p>・生徒が, 活動内容が可能か, 活動場所, 時間の見通し等を視点を明確にもてるように助言をする。</p>
	12 13 14 15 16 17 18 19 20 21	<ul style="list-style-type: none"> テーマの追究 課題追究学習 ・学校内(図書, 実習, インターネット等)での調査, 研究を行う。 ・校外での調査活動を行う。 ・外部の人へのインタビュー等を行う。 <p>・中間報告会に向けて, 学習の成果や問題点をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習計画を参考にし, 校外学習の計画, 外部の人へのインタビュー依頼等の計画を立てる。 ・生徒の活動状況を把握し, 状況に応じて, 自分で考えさせたり解決の方法を示唆して判断させたりする等のように助言する。 ・必要に応じて外部の人にも参加してもらう。
	11	(0)	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会 野外総合活動記, テーマ学習の成果を報告する。
12	22~ 29 (8)	<ul style="list-style-type: none"> テーマの追究 課題追究学習 ・中間報告会を受けて, 活動計画を見直し, さらに追究していく。 	
1	30 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 最終発表会 学習成果の発表 ・各自テーマ学習の成果を発表し, 意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの人に参加してもらう。
	31~ 34 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 学習成果の発信 学習の成果の外部への発信 ・ホームページ, 新聞等自分で工夫した方法で外部へ発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が作成したものを多くの人が見ることができるようにする。

2	35 (1)	学習の振り返り	学習の反省，来年度への課題検討	
---	-----------	---------	-----------------	--

6. 年間指導計画運営の工夫

(1) 各自学習テーマの決定，学習活動計画

オリエンテーションや準備されている学習材，今までの生活などをもとに，自分の興味・関心のあるものを見つけ自分自身のテーマとしていく。また，テーマの設定や学習活動の計画の段階でウェビング法を取り入れ，学習活動の全体像を把握し，さらに生徒が課題を設定しやすくする。

(2) 学習活動の振り返り，評価

毎時間の学習を振り返り，学習(探求)の過程がわかるように，各自総合学習ファイルを持ち，毎時間の計画，学習の成果等と記入していく。

活動や学習の過程，報告書や作品，発表などにみられる学習の状況や成果などについて，生徒のよい点，学習に対する意欲や態度，進歩の状況などをふまえて適切に評価する。また，それらを意識的に生徒自身に返していく。指導要録には評定は行わず，所見を記述する。通知表では，その学期に取り組んだ課題に即しての具体的な成果を，向上的な目標，体験的な目標という観点から「ほめ言葉」を中心に記述する。

H12/5/1 付 県教育委員会通知

移行期間における小・中学校の教育課程編成に関わる指導要録等の記入について」

1 指導要録の記入について

(1) 「総合的な学習の時間の」の評価について

学習指導要領小学校 総則 - 第 3 」，中学校 総則 - 第 4 」に従い，趣旨を十分踏まえること。

結果の評価ではなく，過程の評価を行うこと。

創設の趣旨から児童生徒のプラス面を重要視すること。

全員記入を原則とすること。

(2) 記入箇所について < 指導要録の様式・解説(平成 3 年 12 月県教委発行)による > 小・中学校……………指導上参考となる諸事項」の欄に記入すること。

2 通信簿(通知票)の記入について

(1) 「総合的な学習の時間」の評価について

1 - (1) に同じ

(2) 記入箇所について

各学校が創意工夫をすること。

(3) メディアルームの整備

- ・ 環境，福祉，国際理解，情報などの多様なトピック別の図書・図鑑・ビデオソフトの整備。
- ・ インターネット接続用コンピュータ，カラープリンタ，VTR 等メディア機器の整備。
- ・ 多様な学習形態に対応した機器，机等の配置。

7. 「総合的な学習の時間」推進会議の設置

毎時間の指導計画の検討，全教職員が協力していくための連絡・調整のための時間が必要である。月に 1 回程度，全職員による推進会議においてそれらの話し合いや研修を行う。